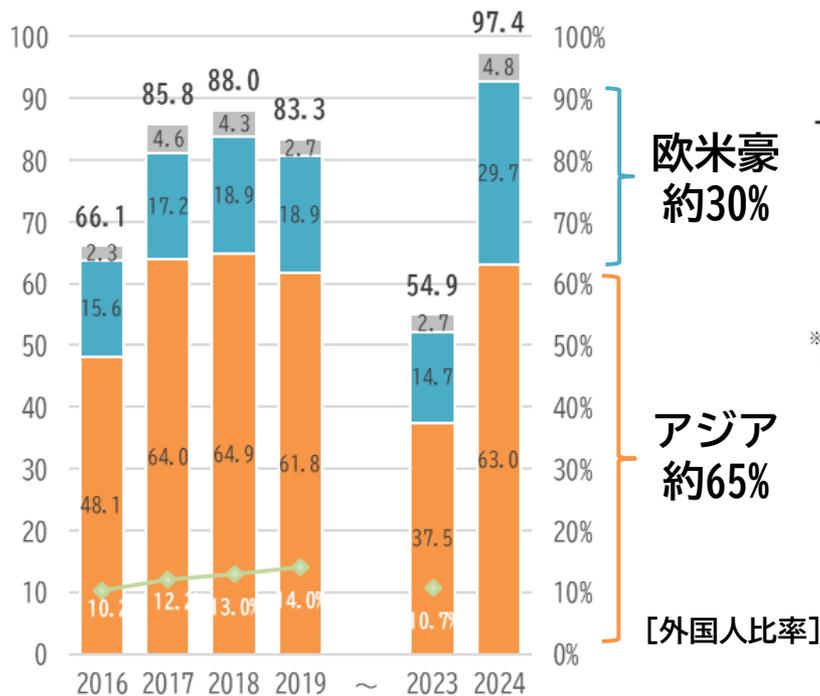


## I. スノーリゾートに期待される役割・意義

- 観光は今や我が国第2位の輸出産業に急成長し、地域の活性化・日本経済の発展に不可欠な産業である一方、訪日外国人旅行者が都市部を中心とした一部地域に偏在する傾向が見られる
- 観光立国推進基本計画で掲げる「地方への誘客」「地方での宿泊数の増加」「1人当たり消費額の増加」といった目標を実現できる最も象徴的なデスティネーションの一つが「スノーリゾート」と言える
- 雪質やアクセスの良さ、標高が低いため身体への影響が少なく寒すぎない気温の中でスキーを楽しめる、といった日本のスキー場の魅力の高さもあり、スノースポーツを目的とした訪日外国人旅行者数及び消費額は増加基調にある。一方で、日本には、スキー場あってスノーリゾート無し、という声も聞かれるのが現状

【訪日外国人スノーリゾート地域訪問者数（推計値）】



【スキー・スノーボード実施者の支出・滞在の傾向】



(出典：訪日外国人消費動向調査(2024年1～3月)/インバウンド消費動向調査(2024年4～12月))

注：数値は、在留資格が「90日以内の短期滞在(観光、商用、知人・親族訪問等)」である者に限って算出。

(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査から推計

# 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進に向けた検討委員会最終報告書概要

## Ⅱ. スノーリゾートの現状・課題

### 【(1) 地域一体の経営視点の不足】

- ・地域全体での観光客に関するデータの収集・分析や効果的なブランド戦略（ブランディング）、プロモーション等の民間的手法の導入等、**地域一体となった経営視点が不足**している
- ・地域経営のための司令塔となる**マネジメント人材が不足**している地域も少なくない

### 【(2) ニーズの多様化】

- ・これまでは、主に欧米豪を中心とした上級スキーヤーがスキー客の多くを占めていたが、近年では、アジア圏を中心とした初心者から中級者のスキー客や、**滑走ではなく単に「雪」に触れあうことを楽しむ層が増えてきている**

### 【(3) 長期滞在への環境整備不足】

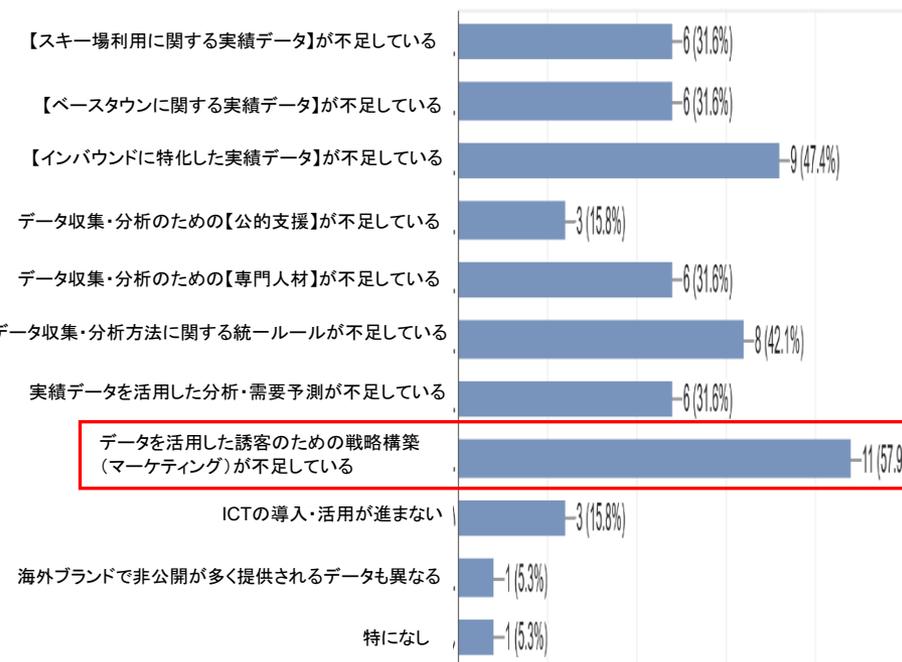
- ・**長期滞在に向けた受入体制が整っていない**地域が多い
- ・長期滞在においては多様な食の提供が求められる中、ホテルでの宿泊では食のバリエーションが豊かでないことが多い一方、**宿泊施設周辺の飲食施設の不足から食事の確保が困難**になり、地域住民の日々の生活にまで影響を与えている地域が出始めている

### 【(4) 需要の偏在】

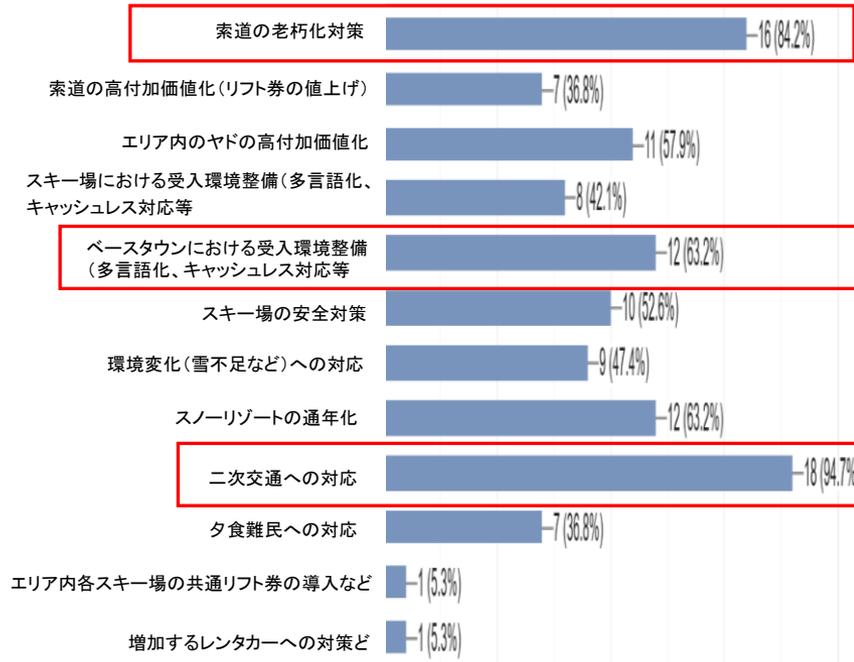
- ・年間を通じて**稼働が平準化されておらず、雇用の継続性が大きな問題**となっている

## 【観光庁調べ】 ※19地域より複数回答あり

○データ収集・分析について特に課題と感じる項目について



○更なる国際競争力の高いスノーリゾート形成に向けて必要とすること



# 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進に向けた検討委員会最終報告書概要

## Ⅱ. スノーリゾートの現状・課題

### 【(5) 地域への還元】

- 一部の地域では海外資本を含む外部資本が多く進出しているが、それが地域経済に還元されていない事例が多く見られる
- 訪日外国人旅行者が増えることで地域住民がこれまでのようにスキーを楽しめない状況や、全国各地で問題になりつつある訪日外国人旅行者のマナー問題等により、観光客の更なる受入れに関する地域住民の不安感の高まりが発生しつつある

### 【(6) 二次交通など、不十分な受入環境整備】

- 二次交通の整備が大きな課題となっている
- 訪日外国人旅行者に対応した受入環境の改善について、依然として不十分な地域が多い

### 【(7) 索道施設の設備投資不足】

- 索道施設は設備の維持管理費用コストが高いことに加え、新設・更新にかかる費用が非常に膨大であるため、設備投資を進めることが難しくなっている
- 更新されない索道施設が原因で諸外国と比較してスキー場としての魅力が低下しているとの声も聞かれる

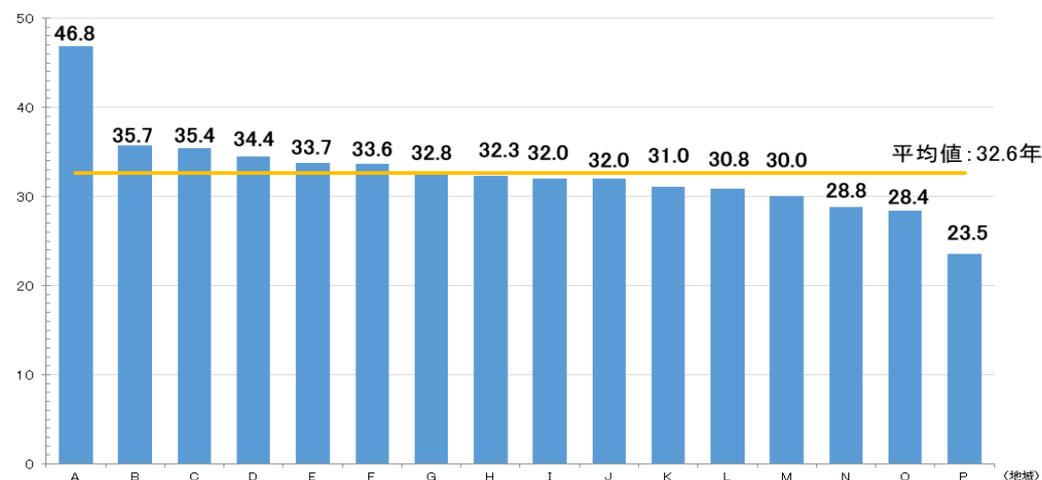
### 【(8) 安全管理体制】

- バックカントリースキーの需要が高まっている中、十分な知識や技術を持たない初心者のスキーヤーやスノーボーダーまでもが安易に入り込んでいる状況が見受けられ、スキー場管理者が遭難時の対応に追われることが多くなっている
- 滞在中の事故、病気、災害等の事態への備え、来訪者・事業者・関係機関の連絡体制や情報提供方法の確立が求められている

### 【(9) 温暖化による雪不足】

- 温暖化による深刻な雪不足が頻発しており、スキー場の多くは降雪機や造雪機の導入を行うことで営業期間が確保できる一方で、その乱用は環境負荷を増加させることとなる

【観光庁調べ 各地域の索道平均築年数（令和7年度申請書類より抽出）】



【スキー場における営業開始日の推移】

○降雪機を活用しているスキー場の例

23-24 シーズン	24-25 シーズン	25-26 シーズン
12/3	12/2	12/1

○降雪機を活用していないスキー場の例

23-24 シーズン	24-25 シーズン	25-26 シーズン
12/20	12/14	12/13

※いずれも北海道内のスキー場の例

### Ⅲ. スノーリゾートの目指すべき方向性

#### 持続可能なリゾート地

- スキー場からスノーリゾート、ひいてはマウンテンリゾートを形成することを目指す
- 事業の継続性や雇用の確保等により健全な成長につなげていく

#### 地域活性化に資するリゾート地 ～「住んでよし」の観光地域～

- 地域住民が誇りと愛着を持てる地域にする
- 地域住民も含め地域づくりに向けた合意形成をし、地域づくりの方向性を共有する
- 観光消費を地域に還元していく

#### 国際競争力の高い長期滞在型リゾート地 ～「訪れてよし」の観光地域～

- スノースポーツ以外のコンテンツや通年の魅力に加え、誰もが気兼ねなく楽しめる多様な人を受け入れる環境を備えた長期滞在型のリゾートづくりを進める
- 訴求する地域によって異なる国際競争力の高い魅力を持った地域づくりを進める

IV. 今後の取組の方向性【主な施策】

① マネジメント、マーケティングに関すること

【(1) 地域マネジメント】

- ・地域の多様な関係者が一丸となって共通の目標に取り組むこと、地域全体として魅力を伝える戦略を立てPDCAを回しながら地域全体として取り組むことが必要である
- ・地域特性を活かした地域ブランディングを明確にするほか、今後は拡大指向から適正化という視点に転換していくことも場合によっては必要である
- ・経済波及効果を算出するほか、海外資本や他産業を含めた外部企業の現状把握を行うとともに、それを見える化し、外部企業が地域へ観光消費を還元する仕組みを確立する必要がある
- ・人材育成（研修等）や外部からの専門家派遣等を実施していくことで、地域経営や企業の高度化に取り組む必要がある
- ・DMOが先頭に立って関係者間の協議・調整の場を用意していくことを期待したい

【(2) マーケティング戦略】

- ・多様化する消費者ニーズを的確に把握し客観的なデータ収集分析に基づき主要なターゲット等を設定することが必要である
- ・消費者ニーズの調査・分析を継続的に行っていくことで、ポジショニングを明確にすることも求められる
- ・スノーリゾートごとの特性や地域観光資源を最大限に活用したマーケティングを推進することが重要である

【スノーリゾートごとの特性の具体例】

- ① 都市型スノーリゾート
  - ・都心からの近距離に位置し、観光とともにスノースポーツを楽しめる
  - ・スキー場をはじめとしたスノーリゾートの魅力と、観光都市の魅力の融合
- ② 温泉地を活かしたスノーリゾート
  - ・温泉街を目的に来るため、ほとんどの観光客が宿泊施設を利用
  - ・通年を通して観光客が安定的に来訪
- ③ 自然観光×歴史・文化観光のスノーリゾート
  - ・日本の伝統的な町並みや、文化・歴史を持つ地域
  - ・エリアに滞在し、ベースタウン（滞在拠点）から自然観光（スキー等）を楽しみ、滞在期間の中でベースタウンでの歴史文化観光を楽しめる
  - ・多様なコンテンツに優れている

【都市型スノーリゾートのイメージ図】



#### IV. 今後の取組の方向性【主な施策】

##### ②国際競争力の高いリゾート地の形成に向けて取り組むべきこと

##### 【(3) マウンテンリゾートの形成】

- ・長期滞在や通年での年間を通じた事業の継続性を実現するため、グリーンシーズンの誘客やそのためのアクティビティ等の滞在コンテンツの造成が効果的である
- ・取組を通じて、スノーリゾートからマウンテンリゾートへの転換を図っていくことが必要である

##### 【(4) 地域住民の満足度向上】

- ・地域住民が誇りと愛着を持てる地域とすることが重要であり、地域住民の理解を得ることが必要である
- ・地域住民を対象としたリフト価格の割引等の地域住民向け優待制度を導入することや、山岳コンテンツにおいて地域の伝統行事との連携等を検討し、地域文化・コミュニティを守るための取組をすることも効果的である
- ・地域住民が抱える観光客の更なる受入れへの不安や懸念を払拭するため、訪日外国人旅行者へのマナー啓発や騒音・渋滞対策等を行うことで、地域住民の満足度向上につなげ、地域がそれぞれの地域に合ったスタイルで観光客の受け入れと住民の生活の質の確保を両立していくことが必要である

##### 【海外のマウンテンリゾートにおける取組事例】

##### ○ツェルマット (スイス)

##### 主な夏季コンテンツ

- ・ハイキング、トレイル
- ・夏スキー、パラグライダー
- ・マウンテンバイク・Eバイク
- ・氷河ツアー・ヘリ遊覧
- ・景観鉄道・展望台



<https://www.myswitzerland.com/ja/experiences/gornergrat-bahn/>

##### ○ウィスラー・ブラックコム (カナダ)

##### 主な夏季コンテンツ

- ・マウンテンバイク
- ・ハイキング
- ・ゴルフ
- ・ゴンドラ遊覧
- ・湖でのウォータースポーツ



<https://www.whistlerblackcomb.com/plan-your-trip/lift-access/bike-park-tickets.aspx>

##### 【地域住民の満足度向上に向けた取組事例】

- ・地域住民向けに、スキー場のリフト・ゴンドラ料金が無料になる日を設定
- ・提供店舗における町民優待の導入
- ・スキー場のグレンデにて火祭りを開催



火祭り

出典：<https://www.hakubavalley.com/info/5811/>

#### IV. 今後の取組の方向性【主な施策】

##### 【（５）受入環境整備の加速化】

- ・ 徹底的な受入環境整備の充実を計画的に行い、受入水準の向上を図る必要がある
- ・ ホテル以外に長期滞在できる宿泊施設（コテージやコンドミニアム等）の整備の検討を進めつつ泊食分離の取組を検討することも重要であり、その際には、夕食難民が生じないよう、地域一体として飲食施設の充実を図っていく必要がある
- ・ 二次交通の問題について、交通の種類、便数、時間帯等を含めて地域の関係者間で検討していく必要がある

##### 【（６）観光DXの推進】

- ・ 旅行者の利便性の向上・周遊促進を進めるとともに、従来の観光に体験価値や情報量を付加することで観光地の魅力を高めるためにも、デジタル技術の活用等観光DXの推進が重要である
- ・ キャッシュレス化による各種データの把握や、VR・ARなど映像を活用したデジタルコンテンツの充実等、様々なDXの導入・活用を進めるべきである

##### 【（７）環境に配慮した取組の推進】

- ・ 欧米豪を中心にサステナブルへの関心が高まっている中、環境に配慮した取組をリゾートづくりの中で進めるべきである
- ・ 観光庁のスノーリゾート事業においても環境に配慮した取組を推進し、地域の取組をより後押ししていくことが望ましい

##### 【泊食分離の取組事例】

- ・ 宿泊施設内の飲食部門をリニューアル
- ・ 自施設宿泊客のニーズに応えるだけでなく、エリア全体の  
外食需要を取り込む仕組みを構築



出典：<https://www.hakuba-yamabuki.com/>

##### 【環境に配慮した取組事例】

- ・ 稚樹の保全活動の取組を実施
- ・ 環境学習プログラム（環境学習講義や野外環境学習等）の開催
- ・ 雪を活用した冷房施設の活用



環境学習プログラム



雪むろ

# 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進に向けた検討委員会最終報告書概要

## IV. 今後の取組の方向性【主な施策】

### ③国際競争力の高いスキー場の形成に向けて取り組むべきこと

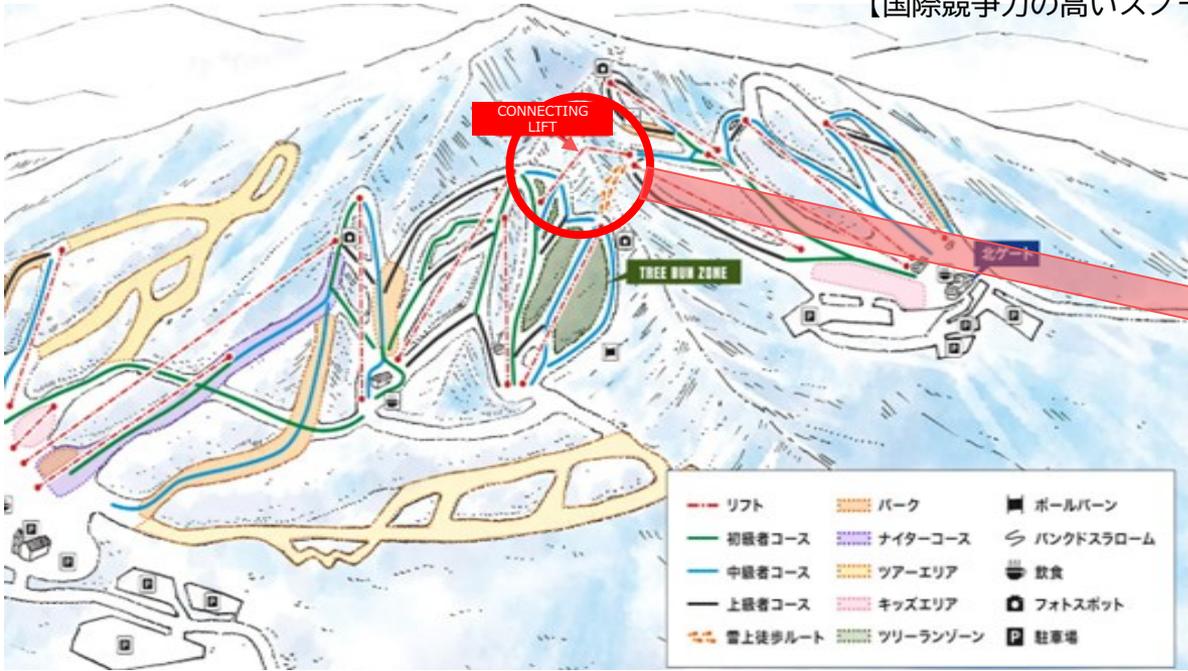
#### 【(8) スキー場の高付加価値化】

- ・ 索道の更新はスキー場の経営改善、集客力向上に関する効果が極めて大きい中、山全体としての索道の合理化を含めて検討しマスタープランを作成することがまず最初に求められる
- ・ スキー場事業者は自己資金を前提とした索道の更新に向けた計画を策定することを基本とすべきである
- ・ グリーンシーズンの誘客を目的とした整備などの投資を行うことも重要である

#### 【(9) 安全安心の確保】

- ・ バックカントリースキーについては、スノースポーツを楽しむ者が、事前に十分な情報や知識を得た上で、自己の責任であることを自覚することを基本としつつも、スキー場事業者等において、啓発を行う必要があるとともに、スキー場管理区域の明示及び境界設備の整備に努めることも必要である
- ・ スキー場の安全対策としては、スキーカット等であらかじめ人工的に雪崩をおこし、利用者を巻き込むことを予防し、安全性を高める事例も参考になるとともに、スキー場内に非圧雪コースを設けるなど、安易にコース外滑走に行かないような工夫をすることも選択肢の一つとして考えられる。
- ・ 訪日外国人の滞在中の事故や病気等が発生した場合や、地震や豪雪等の自然災害が発生した場合でも対応出来るように、利用者・事業者・関係機関の連絡体制や情報提供方法を確立するほか、医療体制の確保等安全・安心の確保に努めることも重要である

【国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業における索道に係る補助事例】



○連結リフト



開放的に広がる南斜面のアルツ磐梯の山頂部と、その北側に位置する猫魔スキー場の山頂部を約800mのペアリフトを建設しスキー場を連結